



諏訪之瀬島小・中学校
祝 本校開校 2 周年
分校86年の歴史と伝統を大切に 2016年本校として開校

すわのせしあわせ学校だより
 明朗 自主 健康 根性 (中学校校訓)
 やさしく かしく たくましく (小学校校訓)

あいさつ そろえる諏訪之瀬っ子
 諏訪之瀬島小・中学校
 平成 2 9 年 度 1 月 号

期待すれば子どもは伸びる

校長 吉永久志

アメリカで実際にあった話だそうです。クラスの中でどの子どもが伸びるか担任の先生は興味を持ち、著名な教育学の教授に予想を立ててもらいました。教授や助手たちにより綿密な調査が始まりました。父母を呼んでの大きかりなものでした。

調査結果を待ちわびていた担任の先生宛に「あらゆるデータ分析の結果、将来伸びるのはA君とB君です」という報告書が届きました。先生は、アッと驚きました。2人ともクラスでは全く目立たない、ごく普通の子だったからです。

しかし、この2人は学年を重ねるごとに、ずば抜けて伸びてきました。先生は、このことを教授に報告しました。「えっ、2人は伸びましたか。実は、あの調査は全くでたらめで調査するふりをしたのです。私は、期待される子どもは必ず伸びるということを試してみたかったのです。2人を選んだのは、全くの当てずっぽうです。誰でも良かったのです。」と教授は担任に事実を話しました。

そういえば、あの報告を受けた日から、先生も両親も噂を聞いた人たちも、2人に対する態度がガラリと変わったのです。全てのことに関心をかけて接するようになったのです。

期待すれば子どもは伸びる。この効果をピグマリオン効果といいます。

子どもの努力で解決できそうな期待をかけると子どもは努力します。そして、その努力が報われると成功感を味わいます。その努力に周りの人が称賛を与えるとさらに意欲を持ちますし、さらに期待に応えようと努力します。この小さな期待の積み上げが子どもを伸ばす原動力になっているのではないかと思います。

子どもたちは、2学期も毎日の授業だけでなく、体育大会・文化祭・駅伝大会と大きな行事を経験して一段と成長しています。勉強、スポーツ、けいこ事何でもいいです。家族団らんの中で、あるいは親戚等が集まった中で、2学期のがんばりやのびゆく姿の中で、多くの良さを見付けて、子どもに期待の言葉をかけて下さい。

子育ての言葉・・・家庭学習のポイント4
 「家庭学習の基盤は、家庭での豊かな会話から」
 *最近、「家庭学習の場所は親の目の届くところで」といわれます。わからないことを親に伝えたり、聞いたりすることを通して、会話力もつき、学力向上にもつながります。



今年も、人権集会 みんなで人権について考えた

人権週間
 12月4日～10日
 北朝鮮拉致問題を考える週間
 12月10日～16日

人権擁護委員の山木保さんのお話は身近な生活や実体験から、人や動物に対して感謝し、相手の立場になり接することの大切さを教えてくれます。



- 12月4日(月) 人権集会 (図書室)
- 1 人権標語の発表
- 2 各学級人権活動発表
- 3 仲間づくりゲーム
- 4 人権擁護員からのお話

駅伝大会 12月8日実施

天候が心配されましたが沢山の方々の声援をいただき皆完走・たすきをつなげました。ぜんざいありがとうございました。絆&仲間づくり



素敵な光景と出会ったので掲載します。

✕伝言板✕ * * * * *

『新児童・生徒会会長紹介』

10月11日会長選挙で選ばれた中学一年金森七海さん。伝統を引き継ぎながらも新しい児童生徒会会長を目指してほしいと思います。ファイト!七海さん



祝すわっこ園一周年

昨年の12月12日開園したすわっこ園早くも一年過ぎましたね。敷地内これからも幼稚園・小・中力を合わせて子どもたちのために頑張りましょう。



給食調理員さんいつもありがとうございます。

11月23日(木) 勤労感謝の日にちなみ、毎年この時期に、給食を作ってくださいる技師の方々に、感謝の心を送る儀式があります。27名分の食事を毎日一人ずつ作ってくださる技師の方々に心よりのお礼を送りました。これからも愛情一杯のあったか給食宜しくお願いします。



2018年 1月の学校行事

- 9日(火) 3学期始業式 大そうじ
- 10日(水) 席書会①②
- 13日(土) 土曜授業
- 17日～18日(水木) 鹿児島定着度学習調査
- 22日(月) 教育相談
- 27日(土) 社会教育学級 (火山学習会 2)
* 八木原寛助教を招いて御岳登山
- 29日(月) 小学校入学説明会

後記

風評はその人の人権を脅かす厄介で回収が困難な人権問題です。「真実とはなんぞや!」常に疑いのフィルターを通し、確かめる習慣をつけたいものです。先月の職員研修では、人権教育の勉強会を実施。拉致問題と同和問題に絞り、改めて真実を学び、子どもたちへ還元していきたいと考えました。私たちの生活の営みの中ではどうか。「一方聞いて沙汰するな」という言葉にあるように最終的には本人・関係者に確かめることが大切です。疑わしきは問うてみる。開かれた学校をめざします。よいお年を。

